

■設計:ソン建築設計事務所(宣銀守)

■ 概要

何十年の歴史を現すような松に囲まれた計画敷地は、北側には済州の青い海、南側には漢羅山の平穏な丘がまるでパノラマのように開かれている。

建築計画に当たって、周辺地形と景観はプログラムの機能的部分より優先し、さらに現実的な問題として受けられ、建築計画とは別けて考えられない問題である。

それから、そのような問題が明らかであればあるほど、それが建築計画の全般をコントロールする。

今回のプロジェクトにおいて作業のポイントは、美しい風景を壊さない最小限の建築作業であった。最小限の建築とは、プログラムの単純化過程を経てより簡潔な形態の切れ端に処理して周辺の自然と同和できる最大限の作業を意味する。